

第1学年 国語科

目標

相手に応じ、身近なことなどについて、事柄の順序を考えながら話す能力、大事なことを落とさないように聞く能力、話題に沿って話し合う能力を身に付けさせるとともに、進んで話したり聞いたりしようとする態度を育てる。

経験したことや想像したことなどについて、順序を整理し、簡単な構成を考えて文や文章を書く能力を身に付けさせるとともに、進んで書こうとする態度を育てる。

書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに楽しんで読書しようとする態度を育てる。

姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら、丁寧に書くことができるようにし、点画の長短や方向、接し方や交わり方などに注意して、筆順に従って文字を正しく書くことができるようにする。

評価の観点・評価方法

【国語への関心・意欲・態度】

国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する関心を深め、進んで話したり聞いたり書いたり、楽しんで読書したりしようとしているかを評価します。発表や学習活動に取り組む様子、学習用具の準備、提出物などから評価します。

【話す・聞く能力】

相手に応じ、身近なことなどについて、事柄の順序を考えながら話したり、大事なことを落とさないように聞いたり、話題に沿って話し合ったりしているかを、発表や話し合いなどの様子から評価します。

【書く能力】

経験したことや想像したことなどについて、順序を整理し、簡単な構成を考えて文や文章を書いているかを、学習ノートや学習プリントの記述内容や、作文、日記などから評価します。

【読む能力】

書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりして本や文章を読んでいるかを、発言内容や学習ノート・学習プリントの記述内容、テストなどから評価します。

【言語についての知識・理解・技能】

伝統的な言語文化に触れたり、言葉の特徴やきまり、文字の使い方などについて理解し使ったりするとともに、文字を正しく丁寧に書いているかを、学習ノートや学習プリントの記述内容、書写作品、テストなどから評価します。

学習計画

月	単元・題材名	書写
4	みつけたよ はきはきあいさつ ほんがたくさん じをかこう	もじのせかいにでかけよう
5	あいうえおのうた あめですよ ふたとぶた みんなにつたえよう ねことねっこ あひるのあくび ことばあそび ぶんをつくろう	もじのはなし
6	かいがら おばさんとおばあさん 「はへを」をつかってぶんをつくろう こえのゆうびんやさん・いしやといしや よんでねきいてね・こんなことしたよ どうやってみをまもるのかな いしやといしや こんなことしたよ	たんけんしよう
7	おおきなかぶ ほんはともだち えにつきをかこう あるけあるけ/木 はなしたいなききたいな かぞえうた おもいだしてかこう	せいかつにひろげよう
10	かんじのはなし おはなしをたのしんでよもう「サラダげんき」 かなをかこう わたしのはっけん かんじのれんしゅうをしよう	たんけんしよう かた
10	のりもののかををしらべよう「いろいろなふね」 「すきなもの」クイズをしよう	
11	日づけとよう日をおぼえよう じゅんじょよくかこう	ひつじゅん
12	きいてつたえよう かん字のれんしゅうをしよう いろいろなおはなしをよもう「おとうとねずみち口」	せいかつにひろげよう
1	むかしばなしをたのしもう 「じゃんけんやさん」をひらこう かたののたいるかん字	ひみつをみつけよう
2	ことばあそびをしよう いろいろなやりかたをくらべてかんがえよう 「歯がぬけたらどうするの」 まとめてよぶことば たのしかったね一年生 かたかなのれんしゅう	せいかつにひろげよう
3	おはなしのすきなところをはっぴょうしよう 「花いっぱいになあれ」 かいてみよう	

第1学年 算数科

目標

具体物を用いた活動などを通して、数についての感覚を豊かにする。数の意味や表し方について理解できるようにするとともに、加法及び減法の意味について理解し、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにする。

具体物を用いた活動などを通して、量とその測定についての理解の基礎となる経験を重ね、図形についての感覚を豊かにする。

具体物を用いた活動などを通して、図形についての理解の基礎となる経験を重ね、図形についての感覚を豊かにする。

具体物を用いた活動を通して、数量やその関係を言葉、数、式、図などに表したり読み取ったりすることができるようにする。

評価の観点・評価方法

【算数への関心・意欲・態度】
数量や図形に親しみをもち、それらについて様々な経験をもとうとしているかを、行動や発言の観察や、振り返りカード等の記述内容、学習用具の準備、提出物、テストなどから評価します。

【数学的な考え方】
数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能の習得や活用を通して、数理的な処理に親しみを、考え表現したり工夫したりしているかを、発言の内容やノート等の記述内容、課題に対して自分なりに工夫して解決する様子、テストなどから評価します。

【数量や図形についての技能】
整数の計算をしたり、身の回りにある量の大きさを比較したり、図形を構成したり、数量の関係などを表したり読み取ったりするなど技能を身に付けているかを、学習プリントやテスト、ノートやドリルなどから評価します。

【数量や図形についての知識・理解】
数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数の意味と表し方及び整数の計算の意味を理解し、量、図形及び数量の関係についての理解の基礎となる経験を豊かにしているかを、学習プリントやテスト、学習ノートや計算ドリルの内容、学習活動に取り組む様子などから評価します。

学習計画

月	単 元 ・ 題 材 名
4	なかまづくりとかず
5	なんばんめ いくつといくつ
6	あわせていくつ ふえるといくつ のこりはいくつ ちがいはいくつ
7	10よりおおきかず なんじなんじはん はなはなんこさいたかな おぼえているかな
9	どちらがながい 3つのかずのけいさん どちらがおおい おぼえているかな
10	たしざん
10	かたちあそび おぼえているかな
11	ひきざん どんなけいさんになるのかな
12	どちらがひろい
1	20よりおおきいかず おぼえているかな
2	なんじなんぶん ビルをつくろう ずをつかってかんがえよう
3	かたちづくり ばしょをあらわそう けいさんピラミッド 1ねんのふくしゅう

第1学年 生活科

目標

自分と身近な人々及び地域の様々な場所、公共物などのかかわりに関心を持ち、地域のよさに気付き、愛着をもつことができるようにするとともに、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考え、安全で適切な行動ができるようにする。

自分と身近な動物や植物などの自然とのかかわりに関心を持ち、自然のすばらしさに気付き、自然を大切にしたり、自分たちの遊びや生活を工夫したりすることができるようにする。

身近な人々、社会及び自然とのかかわりを深めることを通して、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活することができるようにする。

身近な人々、社会及び自然に関する活動の楽しさを味わうとともに、それらを通して気付いたことや楽しかったことなどについて、言葉、絵、動作、劇化などの方法により表現し、考えることができるようにする。

評価の観点・評価方法

【生活への関心・意欲・態度】
 身近な人、社会、自然及び自分自身に関心を持ち、進んでそれらとかかわり、楽しく意欲的に学習したり、生活したりしようとしているかを、授業の態度や発言の様子、日頃の学習活動、学習カード、作品などから評価します。

【活動や体験についての思考・表現】
 調べたり、育てたり、作ったりするなどの活動や学校、家庭、地域における自分の生活について、自分なりに考えたり、工夫したり、振り返ったりして、それをすなおに表現しているかを評価します。発言の内容、学習プリント、作品、身体表現などから評価します。

【身近な環境や自分についての気付き】
 具体的な活動や体験によって、学校、家庭、地域、公共物、身近な自然、動植物、自分の成長などの様子、それらと自分とのかかわり及び自分自身のよさに気付いているかを評価します。発言の内容、日頃の学習活動、学習プリント、学習カードなどから評価します。

学習計画

月	単 元 ・ 題 材 名
4	は栽培継続単元「きれいにさいてね・・・」 がっこうにいこう がっこうのことがしりたいな なかよくなりたいな
5	みんなでがっこうをあるこう がっこうをたんけんしよう たねをまこう がっこうのひととなかよくなるう まいにちせわをしよう こうていもたんけんしよう
6	がっこうでみつけたことをはなそう みんなでつうがくるをあるこう みんなのこうえんであそぼう
7	くさばなやむしをさがそう つちやすなであそぼう はなをさかせよう
9	みずであそぼう むしをさがそう たねとりをしよう
10	むしとなかよくなるう あきをさがそう こうえんであきをさがそう
10	はっぱやみであそぼう
11	みつけたあきをしょうかいしよう
12	あきのおもちゃをつくろう みんなであそぼう じぶんのいちにちをふりかえろう いえのひとといっしょにしよう
1	じぶんでできることをしよう ありがとうをとどけよう そとであそぼう
2	かぜであそぼう
3	ふゆのこうえんにいこう あたらしい1ねんせいをしょうたいしよう あたらしい1ねんせいをむかえるじゅんぴをしよう もうすぐ2ねんせい

第1学年 音楽科

目標

楽しく音楽にかかわり、音楽に対する興味・関心をもち、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。
 基礎的な表現の能力を育て、音楽表現の楽しさに気付くようにする。
 様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を育て、音楽を味わって聴くようにする。

評価の観点・評価方法

【音楽への関心・意欲・態度】
 楽しく音楽にかかわり、音や音楽に対する関心をもち、音楽表現や鑑賞の学習に自ら取り組もうとしているかを評価します。授業の態度や表現活動の様子、日頃の学習活動の様子、学習用具の準備などから評価します。

【音楽表現の創意工夫】
 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いをもっているかを評価します。グループや個人で歌ったり演奏したりする活動の様子や、学習プリントなどから評価します。

【音楽表現の技能】
 音楽表現をするための基礎的な技能を身に付け、歌ったり、楽器を演奏したり、音楽をつくったりしているかを、演奏聴取や発表、個人・グループ・全体活動の様子、実技テストなどから評価します。

【鑑賞の能力】
 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、楽曲や演奏の楽しさに気付き、味わって聴いているかを評価します。日頃の聴く活動における態度や発言の様子、身体表現、鑑賞カードなどから評価します。

学習計画

月	単 元 ・ 題 材 名
4	<ul style="list-style-type: none"> ・さんぼ ・どんなうたがあるかな ・かもつれっしゃ ・かたつむり ・ひらいたひらいた
5	<ul style="list-style-type: none"> わらべうた ・なべなべ ・おちゃらか
6	<ul style="list-style-type: none"> わくわくりズム ・ぶんぶんぶん ・しろくまのジェンカ
7	<ul style="list-style-type: none"> ドレミとなかよし ・ひのまる ・うみ
9	<ul style="list-style-type: none"> こんにちは けんぱんハーモニカ
10	<ul style="list-style-type: none"> いいおとみつけて
10	<ul style="list-style-type: none"> いいおとみつけて
11	<ul style="list-style-type: none"> がっきをつくろう
12	<ul style="list-style-type: none"> ようすをおんがくで
1	
2	<ul style="list-style-type: none"> みんなのおんがくパーティー
3	<ul style="list-style-type: none"> ほしのおんがくをつくろう

第1学年 図画工作科

目標

進んで表したり見たりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。
造形活動を楽しみ、豊かな発想をするなどして、体全体の感覚や技能などを働かせるようにする。
身の回りの作品などから、面白さや楽しさを感じ取るようにする。

評価の観点・評価方法

【造形への関心・意欲・態度】
思いのままに表したり、作品などを見たりしながら、つくりだす喜びを味わおうとしているかを、授業の態度や表現や鑑賞の様子から評価します。

【発想や構想の能力】
感じたことや材料などを基に表したいことを思い付いたり、形や色、つくり方などを考えたりしているかを、学習の様子や作品、自己評価カード等の記述などから評価します。

【造形的な技能】
体全体の感覚を働かせながら材料や用具を使い、工夫して表しているかを制作の様子や作りつつある作品・完成作品などから評価します。

【鑑賞の能力】
身の回りの作品などの形や色などから、面白さに気付いたり、楽しさを感じたりしているかを、鑑賞の様子や鑑賞カード、発言の内容などから評価します。

学習計画

月	単元・題材名
4	かんじたことを かたちやいろをたのしもう おひさまにこにこ すきなものなあに
5	みんなでかざろう すなやつちとなかよし かたちからうまれたよ
6	ねんどでつみき おってたててゆめのまち クッキーやさんになろう
7	ならべてつんで ドアのむこうに
9	はこのなかまたち かけをうつして
10	どうぶつさんだいすき
10	のってみたいな
11	なにになるかな プレゼントをどうぞ
12	かんじたこと おもったこと
1	いろいろペタン
2	ニヨキニヨキとびだせ
3	コロコロゆらゆら

第1学年 体育科

目標

簡単なきまりや活動を工夫して各種の運動を楽しくできるようにするとともに、その基本的な動きを身に付け、体力を養う。
だれとでも仲よくし、健康・安全に留意して意欲的に運動をする態度を育てる。

評価の観点・評価方法

【運動への関心・意欲・態度】
運動に進んで取り組むとともに、だれとでも仲よく、健康・安全に留意しようとしているかを、授業中の態度・様子や発言の内容、学習用具の準備などから評価します。

【運動についての思考・判断】
運動の仕方を工夫しているかを、自分の課題を解決するための運動の工夫や学習カードの記述内容、発言内容などから評価します。

【運動の技能】
運動を楽しく行うための基本的な動きを身に付けているかを、活動の様子や実技テストなどから評価します。

学習計画

月	単 元 ・ 題 材 名
4	ゆうぐ・てつぼうあそび
5	おにあそび たいりよくテストのれんしゅう
6	どうぶつランド
7	みずあそび
9	のりものランド
10	かけっこ リレーあそび
11	ドッジボール
	とびっこあそび
12	とびばこ・マット・へいきんだいあそび
	なわとびあそび
1	
	がんばりっこ
2	
	サッカーゲーム
3	

第1・2学年 道徳

目標

道徳教育の目標、
人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を家庭、学校、その他社会における具体的な生活の中に生かし、豊かな心を持ち、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛し、個性豊かな文化の創造を図るとともに、公共の精神を尊び、民主的な社会及び国家の発展に努め、他国を尊重し、国際社会の平和と発展や環境の保全に貢献し未来を拓く主体性のある日本人を育成するため、その基盤としての道徳性を養う。

道徳の時間の目標

各教科、外国ご活動、総合的な学習の時間及び特別活動における道徳教育と密接な関連を図りながら、道徳的価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深め、道徳的心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳的実践力を育成する。

評価の観点・評価方法

【道徳的心情】

道徳的に望ましい感じ方、考え方や行為に対して、逆に、道徳的に望ましくない感じ方、考え方や行為に対して、児童がどのような感情をもっているかを等を把握します。

【道徳的判断力】

道徳的諸価値についてどのようにとらえているか、また、道徳的な判断を下す必要がある問題場面に直面した際に、児童がどのように思考し判断するか等を把握します。

【道徳的実践意欲と態度】

学校や家庭での生活の中で、道徳的によりよく生きようとする意志の表れや行動への構えが、どれだけ芽生え、また定着しつつあるかを等を把握します。

【道徳的習慣】

特に基本的な生活習慣をどの程度身に付け実践できているかを把握します。

評価方法

児童の実態を観察や会話、作文やノートなど記述内容、質問紙や面接などで把握し指導に生かしていきます。児童自身のよりよく生きようとする意欲や努力に目を向けて、勇気づけていきます。道徳の時間に関しては、数値などによる評価、「あゆみ」に示す評定は行いません。

学習内容

1. 自分自身に関すること
 - (1) 健康や安全に気を付け、物を大切にし、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする。
 - (2) 自分がやらなければいけない勉強や仕事は、しっかりと行う。
 - (3) よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行う。
 - (4) うそをついたりごまかしたりしないで、素直に伸び伸びと生活する。
2. 他の人とのかかわりに関すること
 - (1) 気持ちのよいあいさつ、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接する。
 - (2) 幼い人や高齢者など身近にいる人に温かい心で接し、親切にする。
 - (3) 友達と仲よくし、助け合う。
 - (4) 日ごろお世話になっている人々に感謝する。
3. 自然や崇高なもののかかわりに関すること
 - (1) 生きることを喜び、生命を大切にする心をもつ。
 - (2) 身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接する。
 - (3) 美しいものに触れ、すがすがしい心をもつ。
4. 集団や社会とのかかわりに関すること
 - (1) 約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切に使う。
 - (2) 働くことのよさを感じて、みんなのために働く。
 - (3) 父母、祖父母を敬愛し、進んで手伝いなどをして、家族の役に立つ喜びを知る。
 - (4) 先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくする。
 - (5) 郷土の文化に親しみ、愛着をもつ。

全学年 特別活動

目標

学級活動や児童会活動、クラブ活動、学校行事における望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。

評価の観点・評価方法

【集団活動や生活への関心・意欲・態度】

学級や学校の集団や自己の生活に関心をもち、積極的に集団活動や自己の生活の充実と向上に取り組もうとしているかを評価します。

【集団の一員としての思考・判断・実践】

集団の一員としての役割を自覚し、望ましい人間関係を築きながら、集団活動や自己の生活の充実と向上について考え、判断し、自己を生かして実践しているかを評価します。

【集団活動や生活についての知識・理解】

集団活動の意義、よりよい生活を築くために集団として意見をまとめる話し合い活動の仕方、自己の健全な生活の在り方などについて理解しているかを評価します。

評価方法

自己評価や相互評価、質問紙の記述内容、活動の様子などから総合的に評価し、意欲づけたり励ましたりします。なお、「あゆみ」には、「学校生活の様子」の欄に活動状況が分かるよう文章で示す場合もあります。

活動内容

特別活動(学級活動)は、学級を単位として学級や学校の生活の充実と向上を図り、健全な生活態度を育成しようとする活動で、次のような活動内容があります。

(1) 学級や学校の生活づくりに関すること

- ・学級や学校における生活上の諸問題の解決
- ・学級内の組織づくりや仕事の分担処理
- ・学校における多様な集団の生活の向上

(2) 日常の生活や学習への適応及び健康安全に関すること

- ・希望や目標をもって生きる態度の形成
- ・基本的な生活習慣の形成
- ・望ましい人間関係の形成
- ・清掃などの当番活動等の役割と働くことの意義の理解
- ・学校図書館の利用
- ・心身ともに健康で安全な生活態度の形成
- ・食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

